

2022年度事業報告書

特定非営利活動法人 記録と表現とメディアのための組織[remo]

1. 事業期間

2022年4月1日～2023年3月31日

2. 事業の成果

2022年度は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響は続いてきたが、その中でも少しずつ対面で事業を進めていく流れになり、感染防止を徹底しながら行うというスキームを掴んでいくことができた。

今年度は、AHA! [Archive for Human Activities／人類の営みのためのアーカイブ]の自主レーベル第1弾として、2021～2022年に実施した展覧会「わたしは思い出す」をもとに、大幅に再構成した書籍を2023年1月11日に刊行。「自分たちの手で届ける」方法を模索し、取次を通さず直接書店等とやり取りしたり、オンラインからの購入者には梱包方法を検討して直接発送するなどを行った。また、これまで以上に広報活動に力を入れ刊行イベントを積極的に行った。その成果として、初版1000部で、2023年3月末まで在庫僅少の状況となった。同時期に、水戸芸術館主催の展覧会「ケアリング／マザーフード」展に出品作家として招聘され、「わたしは思い出す」の巡回展示を仙台・神戸に続き行うことができた。

昨年度より準備を進めていた「ドライブ・レコーダー」は、国際芸術祭あいち2022のラーニング・プログラム「愛知と世界を知るためのリサーチ」の一環として実施。ここでは、新たに公募したサポートメンバーとリサーチのプロセスを共有し、これまでAHA!が行ってきたプロセスとは異なる多くの発見を得ることができた。

2015年より東京都世田谷区で展開しているプロジェクト「穴アーカイブ」の流れを踏襲した、アーツカウンシル東京及び生活工房との共催事業「移動する中心 | GAYA」は、ウェブサイトに活動記録や今後の展開に向けたリサーチレポートなどを掲載し、共催事業としての4年間の総まとめを行った。今後については体制の再構築が必要となるが、これまでのワークショップ参加者と勉強会を行っていく。

Alternative Media Gatheringは、2020年にコロナ禍の影響で中止となって以来、2年ぶりに開催することができた。

ご近所映画クラブは、昨年度に続き大阪にて実施。着々と作品が蓄積されている。

資金面は、補助金のほか、事業受託や書籍販売などにより事業の実施と管理費の維持に努めた。

設立より20年、今後の課題は、培ったノウハウと人脈の蓄積をどう次に活かしていくか。これまでの事業の継続とともに、新たな展開を見据えた事業の検討と予算の確保、蓄積した資源の整理や分析を行えるような法人の体制を検証していく必要がある。

3. 事業の実施状況

<特定非営利活動に関する事業>

(1) メディア表現の発表、鑑賞機会の企画運営事業

[事業の対象者] 不特定一般

①AHA! [Archive for Human Activities／人類の営みのためのアーカイブ]

①-1 穴アーカイブ：an-archive 世田谷の8ミリフィルムにさぐる

[実施内容] 昭和30～50年代の世田谷の風景や生活がパーソナルな視点で記録された8ミリフィルムを貴重な共有財と捉え直し、収集・公開・保存・活用していく映像アーカイブプロジェクト「穴アーカイブ」に、昨年度に続き企画制作として関わった。具体的には、1) SNSを用いた広報活動、2) ウェブサイトを活用した交流プログラム（せたがやアカカブの会、生活工房アレコレ2022、エトセトラの時間）の設計と運営を担った。1) については、とくにtwitterを活用して、ウェブサイトに公開している84タイトルに関する思い出やエピソードをひろく募集し、ウェブサイトの利活用を促進する動きを活発化させた。2) については後述のとおり。

参考URL：<https://www.setagaya-ldc.net/program/444/>

[実施場所] 世田谷文化生活情報センター生活工房

*せたがやアカカブの会

[実施内容] かつての世田谷を記録した「8ミリフィルム」を手がかりに、いま・ここにいる私たちと映像との関係をつなぎなおす試み。時間をかけてじっくりと観ながら、紡ぎ出された記憶や想像の断片をじっくりと語り合う定例会。2022年度は、対面でのワークショップとハガキでのアンケート方式とのハイブリッドで開催した。

[会場] セミナールームA(5F) / セミナールームB(5F)

[時間] 14:00～15:30

1回目

[会期] 2022年6月19日（日）（ハガキ募集期間：2022年5月8日～6月7日）

[参加者数] 11名（+ハガキ回答4名）

2回目

[会期] 2022年9月17日（土）（ハガキ募集期間：2022年7月8日～9月7日）

[参加者数] 14名（+ハガキ回答3名）

3回目

[会期] 2023年1月21日（土）（ハガキ募集期間：2022年10月8日～12月7日）

[参加者数] 10名（+ハガキ回答4名）

4回目

[会期] 2023年3月18日（土）（ハガキ募集期間：2023年2月8日～3月7日）

[参加者数] 20名（+ハガキ回答3名）

*生活工房アレコレ2022 8ミリフィルム常設上映

[実施内容] 生活工房のバックヤードに眠る事々物々を小さく紹介する「生活工房アレコレ」にて、毎月8日、映像を入れ替えながら、来場者から映像をきっかけに思い出したエピソードを募った。

[実施日時] 2022年4月8日（金）～2023年4月7日（金）

[実施会場] 生活工房ギャラリー(3F)

*エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会

[実施内容] 目の見える人、見えない人、障害の有無にかかわらず多様な背景を持つ人と集まって、8ミリフィルムの映像をオンラインで鑑賞。見えるもの、見えないもの、様々な視点や参加者が持ち寄った言葉を交わしながら、「エトセトラ」の時間を楽しむ。視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップと共同で本企画を実施した。

[実施日時] 2022年10月10日（月・祝）／2022年11月23日（水）／2022年12月17日（土）
全日14:00～16:30

[参加者数] のべ22名

①-2 移動する中心 | GAYA

[実施内容] 昭和の世田谷をうつした8ミリフィルムのデジタルデータを活用し、映像を介した語りの場を創出するコミュニティ・アーカイブプロジェクト。2022年度は新規の応募者と前年度からの継続参加者に対し、勉強会やワークショップを開催し、8ミリフィルムの映像を発見的に鑑賞する方法（みる、はなす、きくの3つのステップ）に取り組んだ。また活動の記録および周知を目的として、ライターによる活動のドキュメントを連載、さらに、隣接領域との接点をさぐるため、ケアの現場に携わる方々との世田谷区内でのリサーチレポートを掲載した。

参考URL：<https://aha.ne.jp/si/>

*オンラインワークショップ・勉強会

[実施日時] 2022年4月24日（日）、5月22日（日）、6月26日（日）、7月24日（日）、8月28日（日）、9月25日（日）、10月23日（日）、11月27日（日）、12月25日（日）、2023年1月22日（日）

[参加者数] のべ合計89名

①-3 ドライブ・レコーダー

[実施内容] 国際芸術祭あいち2022のラーニング・プログラム「愛知と世界を知るためのリサーチ」の一環として、運転免許の《自主返納》の制度に着目したリサーチプロジェクトの企画・運営を担当。出品作家として展示およびプロジェクト報告会を実施した。

参考URL：<https://aichitriennale.jp/learning/2021/004681.html>

*展覧会

[日時] 2022年7月30日（土）～10月10日（月・祝）10:00～18:00（金曜日は20:00まで）

[実施場所] 愛知芸術文化センター8階（展示会場）

[来場者数] 26,377名

*報告会

[日時] 10月1日（土）、10月9日（日）各日15:00～16:30

[会場] 愛知芸術文化センター8階 ラーニングルーム・オープンスペース

[参加者数] 42名

①-4 「パーソナルフィルム集積による人と地域共創デザイン:フィルムアーカイビングとコミュニティ形成」（フィルムプロジェクト）企画運営

[実施内容] 徳島大学が実施するアウトリーチプログラムの8ミリフィルムアーカイブプロジェクトについての指導業務、および、上映会イベントの企画運営を担った。

[実施日時] 2022年8月22日（月）

[実施場所] まちなかデザインラボ

[参加者数] 32名

①-5 すみおれアーカイヴス2022

[実施内容] 「地域の記憶と記録」にフォーカスを当てたプログラムとして、2016年より開始した鳥取県内のご家庭に眠る8ミリフィルムの保存と活用プロジェクト「すみおれアーカイヴス」。およそ150本（45巻）の8ミリフィルムを発掘してきた。2022年度は、これまでに収集・デジタル化された45巻の8ミリフィルム映像のタイムコードを作成する「目録づくり」WSと、ホームムービーの撮影者と被写体との関係を考察したり、参加者の生活の場所である「鳥取の風景」の過去と現在をつなぎ直す作業を、その場で行い、発表する公開ワークショップを実施した。完成した目録は映像と合わせてウェブサイトにて公開した。

参照URL：<http://hospitale-tottori.org/program/sumiorearchives2022/>

<http://hospitale-tottori.org/film/>

* 目録づくりWS 第一回

[実施日時] 2022年10月17日（月）19:00～21:00

[実施場所] ことめや

[参加者数] 14名

* 目録づくりWS 第二回（オンライン）

[実施日時] 2022年11月14日（月）

[参加者数] 13名

* 目録づくりWS 第三回

[実施日時] 2022年12月12日（月）

[実施場所] ことめや

[参加者数] 15名

①-6 鳥取県立美術館 アート・フィールド・リサーチ・プロジェクト

[実施内容] 2025年春に開館する鳥取県立美術館のオープニングイベント『アート種のまきプロジェクト：地域連携プログラム』の一環として、県内各地でリサーチを実施。トークや中間報告を行なった。

*アーティストトーク

[日時] 2022年11月12日（土）14:00～17:00

[場所] HATSUGAスタジオ

[参加者数] 21名

参考URL：<https://tottori-moa.jp/news/3038/>

*中間報告会

[日時] 2023年3月25日（土）15:00～17:30

[場所] HATSUGAスタジオ

[参加者数] 26名

参考URL：<https://tottori-moa.jp/news/3585/>

①-7 ホーム・ムービング！-水戸の風景と生活をめぐるアーカイブ

蔵出し上映 | 8ミリフィルムに残された風景

[実施内容] 水戸芸術館主催で、市民から寄せられた8ミリフィルムに写る昭和30年代～40年代の水戸の風景を公開し、人々の暮らしや街の風景の変化を考えるプログラムを行った。

[実施日] 2022年3月28日～8月15日

[上映場所] 水戸芸術館、茨城トヨタ自動車株式会社、水戸泉町店、水戸駅ビル、エクセルみなみ

参考URL：https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5099.html

①-8 「ケアリング／マザーフード」展

[実施内容] 水戸芸術館主催の企画展に出品作家として参加。仙台・神戸で実施した「わたしは思い出す」の企画を新たな形で展示した。関連企画として、完成した書籍での読書会を開催した。

参考URL：https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5188.html

*展覧会

[日時] 2023年2月18日（土）～5月7日（日）10:00～18:00

[実施場所] 水戸芸術館現代美術ギャラリー

*読書会

[日時] 3月11日（土）、12日（日）各日14:00～15:30（4月23日にも実施）

[実施場所] 水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室

[参加者数] 6名（3/11）、5名（3/12）

①-9 回想録『わたしは思い出す』刊行

[内容] 人は経験していないことを、どのように経験できるのか。せんだい 3.11 メモリアル交流館およびデザイン・クリエイティブセンター神戸での展覧会「わたしは思い出す」（2021年）の内容に、新たな要素を加えて再構成。1冊の書籍にまとめ、AHA！出版レーベル第1弾と

して刊行した。また刊行後も書籍にまつわるさまざまなイベントを実施した。（現在も継続中）

〔書籍名〕 『わたしは思い出す I remember — 11 年間の育児日記を再読して』

〔発行〕 2023年1月11日

〔仕様〕 W110×H160 / 並製 / 832頁

〔価格〕 3,500円（税込）

参考URL：<https://aha.ne.jp/iremember/>

* 「近代日本の日記文化と自己表象」第35回研究会

日記文化の研究会にて、書籍に関する特別講演を行った。

〔日時〕 2023年3月4日（土）13:30～17:30

〔会場〕 明治学院大学白金キャンパス（東京）+オンライン（zoom）

* 刊行記念トーク「育児日記・再読のススメ」

朗読家の岡安圭子さんによる朗読と、編者の松本による制作中のエピソードを語るトーク。

〔日時〕 2023年3月5日（日）14:00～15:30

〔会場〕 無印良品 東京有明

〔参加者数〕 15名

* 刊行記念トーク

聞き手の黒田杏子さんによる本書の可能性を掘り下げたトーク。

〔日時〕 2023年3月10日（金）19:30～

〔会場〕 ON READING（名古屋）

〔参加者数〕 15名

* 刊行記念トーク「いくつもの《11日》を思い出す」

朗読家の岡安圭子さんによる朗読と、編者の松本による制作中のエピソードを語るトーク。

〔日時〕 2023年3月11日（土）19:30～21:00

〔会場〕 MUJI HOTEL GINZA 6F（東京）

〔参加者数〕 5名

* 生活史の編集とデザイン—『わたしは思い出す』をめぐって

本デザインを担当した尾中俊介さんと編者の松本が、制作のプロセスを振り返ったトーク。

〔日時〕 2023年3月17日（金）18:30～20:00

〔会場〕 デザイン・クリエイティブセンター神戸 [KIITO] ギャラリーC

〔参加者数〕 15名

* 刊行記念トーク

本書を読んだ赤井あずみさんの自身の読書経験を通してテーマを掘り下げたトーク。

〔日時〕 2023年3月24日（金）18:30～

〔会場〕 汽水空港（鳥取）

〔参加者数〕 14名

①-10 戦時中の子どもたちが書いた"平和への願い"を再びなぞる。『慰問文集』再々発行プロジェクト

[実施内容] 戦地の兵士を励ますために書かれた「慰問文」の再々発行をめざして、岐阜県美濃加茂市伊深町において関係者への取材、文献調査、複写作業を2019年より実施。80年前、40年前に綴られた『慰問文集』をとおして、戦場の父や兄に、子どもたちはどんな言葉を送ったのかを探った。2022年度もコロナ禍のため調査・取材を中断し、刊行時期を見直している。オンラインでの編集会議は継続し、これまでの取材音源の編集や構成作業を行った。

②Alternative Media Gathering 回帰した都市のインディアン

[実施内容] 約2年ぶりの開催となったAlternative Media Gathering。

戦後1970年代イタリアのアウトノミア運動は大衆化した北部の大学生だけでなく、南部からきた国内移民の若者たちが中心にいた。都市のインディアンと呼ばれたのは1973年、トリノ近郊の自動車製造工場でドラムを打ち鳴らして労苦を拒否した若者たちのことだ。そこには既成の政党政治とは隔絶した、まったくあたらしい言語文化があったと言われている。

以来半世紀、パンデミックの戒厳令下で移民労働者（不良たち）は救急車しか走らない道路をテイクアウト・メニューを背負い、多言語混交のライムで自転車を走らせる。2022年トリノのライダー（ギグワーク配達員）たちの闘争と最近の社会センター（スクウォット）事情について、現地で人気のライダー兼業ラッパーを再びゲストに迎えて共有する場となった。

参考URL：<https://www.remo.or.jp/ja/2022/1108-1116.html>

[実施日時] 2022年11月23日（水）18:30～21:00

[場所] remo / コーポ北加賀屋

[ゲスト] RWA RIDERZ WITH ATTITUDE

[参加者数] 30名

(2) ワークショップ事業

[事業の対象者] 不特定一般

①（だいたい）3時間で映画を作る！「ご近所映画クラブ」

[実施内容] 「ご近所映画クラブ」は、フランスの映画監督ミシェル・ Gondrier氏が数時間で企画から上映までを行う映画製作メソッドをもとにしたプログラム。

今回は昨年度に続き、大阪アジア映画祭の関連ワークショップとして実施。指導・進行を担当し、参加者が「企画し」「計画をたて」「撮影をする」の3段階を相談しながら3時間で映画をつくり、鑑賞会を実施した。

[実施日時] 2023年3月5日（日）12:30～17:30

[実施場所] まちライブラリー@もりのみやキューズモール

[参加者数] 24名

参考URL：<https://www.oaff.jp/2023/ja/event/index7.html>

②六原ショートムービーワークショップ

[実施内容] 京都市六原地区の自治連合会である六原まちづくり委員会より、委員会の主たる活動である「空き家対策」をテーマとした自主制作の映画を作成するため、remo「ご近所映画クラブ」メソッドを参照したいとの連絡があり、加えてアドバイザーとしてワークショップに参加してもらいたい、との依頼があった。

[実施日時]

ワークショップと制作アドバイス：2022年10月26日（水）、12月1日（木）、12月16日（金）、2023年3月3日（金）、3月6日（月）

上映会：2023年3月28日（火）

[実施場所] やすらぎふれあい館（六原地区集会所）+zoom

[参加者数] 約40名（地域住民、サポート学生）

（3）情報収集、研究及び発信事業

[実施内容] 2022年度実績として認定NPO法人、公益財団法人、任意団体、大学法人等からサーバ管理等を受託。

[事業の対象者] 不特定多数

（4）活動支援事業

当法人のメディアに関するノウハウを駆使し、様々なプログラムに企画協力・記録映像制作、教材用DVD、機材提供など制作支援を行った。

4. 社員総会の開催状況

第21回通常総会

開催日時：2022年5月31日19:30～20:30

開催場所：NPO法人記録と表現とメディアのための組織

※新型コロナウイルス感染防止を考慮し、テレビ会議による開催

出席者数：正会員14名中11名（うちオンライン出席3名、委任状2名）、欠席3名

議事内容：

2021年度事業報告および決算報告について

2022年度事業計画および活動予算について

5. 理事会の開催状況（場所はNPO法人記録と表現とメディアのための組織）

開催日時：2022年5月31日18:30～19:30

議事内容：2022年度事業計画について

以上